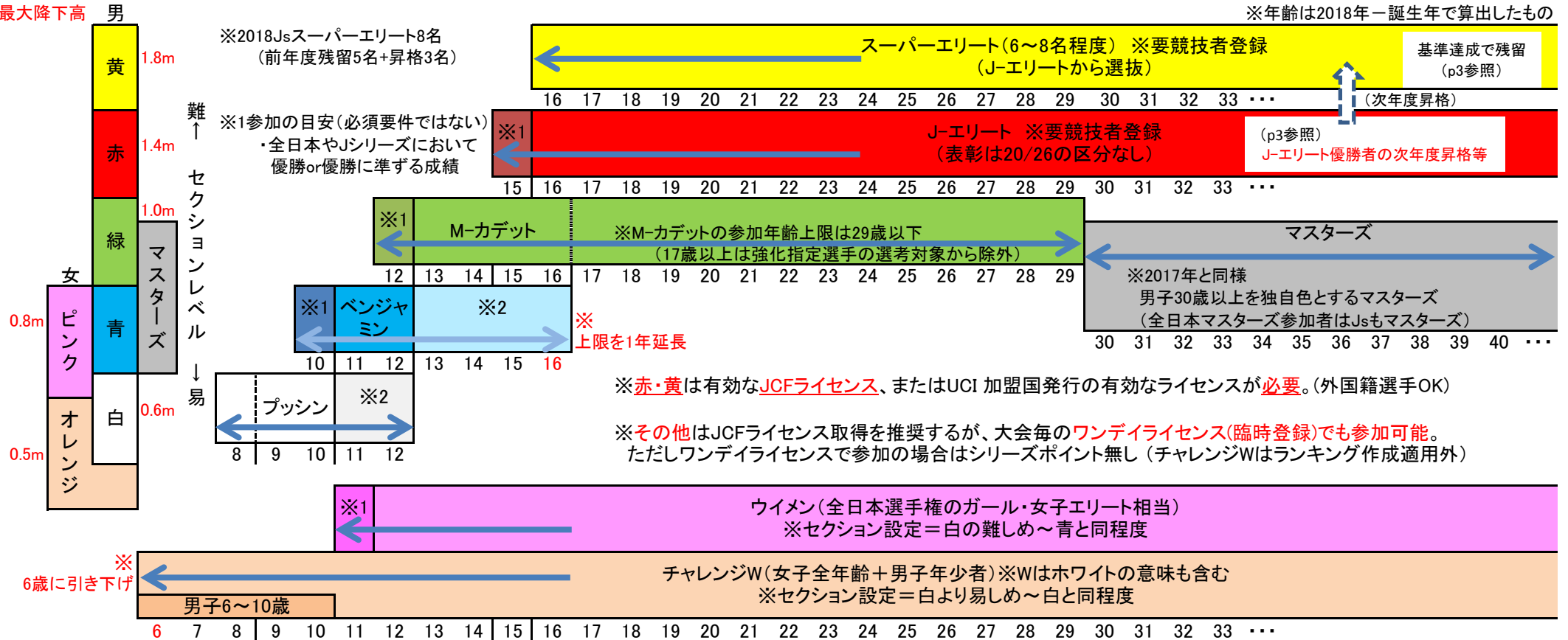


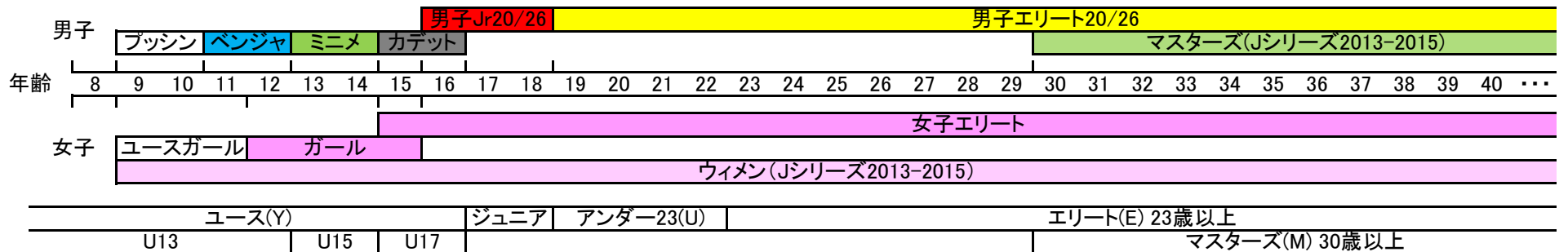
2018Jシリーズトライアル【カテゴリー区分】

○.○mは
最大降下高

※年齢は2018年一誕生年で算出したもの



参考
UCI/JCF
Trial
+
Js2015



参考
JCF登録

2018Jシリーズトライアル【ランキングとシリーズポイント】

★ 2018Jシリーズトライアルは全日本トライアル選手権大会とは異なるカテゴリー区分で行うため、ランキングの作成は下記の方法で行う。

・国内ランキング

・全日本トライアル選手権大会の結果をもって国内ランキングとする。

・Jシリーズランキング (チャレンジWについてはランキングを作成しない)

・2018Jシリーズトライアルのカテゴリーごとに順位に応じたポイントを与え、全4大会の合計ポイントでランキング作成。

※ ポイントは、1位100p,2位85p,3位80p,・・・以下、右表参照。

※ 最終戦(2018Js#04)では各カテゴリー8位まで5ポイント加算。(右表赤字)

・ワンデイライセンス参加選手にはシリーズポイントを与えないが、それより下位順位のポイント繰り上げは行わない。

・シリーズ途中でカテゴリーを変更した場合のポイント計算

・ランキングポイントは最後に出場したカテゴリー(以下、最終カテゴリー)で作成する。

・最終カテゴリー以外で取得したポイントは、以下のように換算し、最終カテゴリーでの取得ポイントに合算する。

上位クラスに移行:[最終カテゴリー以外で参加した大会の最終カテゴリーの参加人数]+[自分の順位]で求めた換算順位のポイント

下位クラスに移行:[最終カテゴリー以外で参加した大会の最終カテゴリーの参加人数]+[移行選手中の自分の順位]で求めた換算順位のポイント

例1)

・#01のJ-エリートは10名参加し、A選手はM-カデットで1位になり次大会からJ-エリートに参加

・#02のJ-エリートでA選手は6位⇒ 65p

・#03のJ-エリートでA選手は4位⇒ 75+5=80p

#01のJ-エリート最下位選手は10位で40p

#01のA選手のM-カデットでのポイントは1位100pだが、J-エリート換算で[10人+1位=11位]⇒ 30p

⇒A選手の最終カテゴリー(J-エリート)の年間ポイント合算は[30+65+80]=175p

例2)

・#01のM-カデットに9名参加し、B選手は9位。この大会でベンジャミンは6名参加していた。

・#02でB選手はカテゴリーをベンジャミンに変更して3位⇒ 80p (#02で他に移行した選手はいなかった)

・#03もB選手はベンジャミンに参加し4位⇒ 75+5=80p (#01でM-カデット8位だったC選手が#03でベンジャミンに出場)

#01のベンジャミン最下位6位選手は65p

#01のB選手のM-カデットでのポイントは9位50pだが、ベンジャミン換算で[6人+移行B,C選手の中でB選手は2番目=8位]⇒ 55p

⇒B選手の最終カテゴリー(ベンジャミン)の年間ポイント合計は[55+80+80]=215p

Jシリーズトライアル ポイント表

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント	
1	100	105	9	50	17	6
2	85	90	10	40	18	5
3	80	85	11	30	19	4
4	75	80	12	20	20	3
5	70	75	13	10	21	2
6	65	70	14	9	22	1
7	60	65	15	8		
8	55	60	16	7		

※赤字は最終戦のみ適用

★ 2018Jシリーズトライアルのスーパーエリート対象選手は下記8選手とする。(2017年度の残留5名+新規昇格3名)

寺井 一希	高橋 靖矢	斉藤 夏樹	土屋 凌我	塩崎 太夢
尾又 太一	豊澤 剛	増田 誠政		

・2018Jシリーズのゼッケン番号

- ・第1戦においては、前年度スーパーエリートのランキング順に参加選手の中で1,2,3,・・・と順に付ける。
- ・第2戦およびそれ以降では、前大会までの暫定ランキング順に参加選手の中で1,2,3,・・・と順に付ける。

★ 2018Jシリーズトライアルにおいて下記に示すJ-エリート成績優良者は次年度から上位カテゴリーに昇格とする。
(2019年度以降の基準は2018年度の大会結果により再検討する)

・次年度昇格

- 1) J-エリートで大会順位1位の成績を残した選手を次年度昇格選手とする。(各大会のうち1回で昇格決定)
- 2) 条件1)を満たす選手が1名のみとなった場合、各大会の成績内容を元に役員合議で追加昇格者を推薦する場合もある。
・昇格人数の人数枠は特に設定しない。

※昇格辞退の申請があった場合、各大会の成績を元に役員合議で検討する。

★ 2018Jシリーズトライアル結果によるスーパーエリート残留基準は以下の通り。
(2019年度以降の基準は2018年度の大会結果により再検討する)

・次年度スーパーエリート残留基準

- 1) 当該年のJシリーズトライアルのスーパーエリートで大会順位3位以内の成績を1回達成。
- 2) 当該年のJシリーズトライアルのスーパーエリートで有効な順位を得た出場者数に対して上位75%以内の成績を2回達成。
例) 8名参加で6位以内、7名参加で5位以内、6名参加で4位以内 (5名以下の場合は3位以内となるため条件1に該当)
- 3) 主に海外で競技活動を行うためJシリーズ不参加となる選手については、国際大会等の成績を考慮して役員合議で検討する。
- 4) 条件1,2,3)を満たさない選手について、次年度昇格者の数も考慮し、各大会の成績内容を元に役員合議で残留を推薦する場合もある。

※自己申告で降格の申請があった場合、各大会の成績を元に役員合議で検討する。